



つのおちょう

第38号

議会だより



元オリンピック選手千葉すずさんによる水泳教室（B & G海洋センター）

6月定例会

平成26年8月1日発行

発行 高知県津野町議会
☎(0889)55-2038
発行責任者 議長 中越一俊
編集 議会だより発行調査特別委員会
印刷 笹岡印刷所

木質バイオマスの可能性を調査…………… 2P

町政を問う（一般質問）…………… 6～9P

ちょっと一言…………… 9P

訓子府町を表敬訪問…………… 10P

木質バイオマス可能性調査委託 400万円

総額61億6,000万円

6月定例会は6日から11日までの6日間開かれ、平成26年度の一般会計補正予算、専決処分等15議案が提出され、いずれも原案のとおり可決された。
一般質問には2人が立ち、子育て支援・歴史・文化財の取り組み等について執行部をただした。

26年度補正予算

▼一般会計補正予算(第1号)

人事異動に伴う人件費の組み換え、緊急雇用創出臨時特例基金事業1千515万9千円、木質バイオマス可能性調査委託400万円、林道金剛線、馬場山線工事費4千745万円等を増額。社会資本整備総合交付金事業の交付決定に伴う工事費1億465万円を減額。歳入歳出700万円を減額し、歳入歳出の総額を61億5千900万円とする。

▼一般会計補正予算(第2号)

葉山運動公園総合センター整備工事費算定委託費100万円を増額し、歳入歳出の

総額を61億6千万円とする。

可決(全員一致)

条例の制定・改正

▼津野町分担金徴収条例の一部を改正する条例

津野町分担金徴収条例のうち、農道・林道の整備事業及び舗装事業について、分担金の徴収を廃止する改正を行うとともに、県営急傾斜地崩壊対策事業について、分担金徴収対象事業費を本工事費のみに改正するもの。

(平成26年4月1日施行)

可決(全員一致)

その他の議決

▼財産の取得について

津野消防団姫野々分団1部2班に配備する小型動力ポンプ付積載車を購入するもの。

可決(全員一致)

▼平成26年度津野町若者定住促進住宅整備工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札
契約金額 1億4千610万2千400円
請負者 (株) 中成

可決(全員一致)

▼平成26年度第2の1号町道久保川東線改良工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札
契約金額 6千477万8千400円
請負者 (有) 西起組

可決(全員一致)

▼平成26年度第5の1号町道船野白河瀬線橋梁下部工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札
契約金額 6千404万4千円
請負者 大和興業(有)

可決(全員一致)

▼平成26年度第5の2号町道船野白河瀬線橋梁上部製作架設工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札
契約金額 4千849万2千円
請負者(株) 鉄建ブリッジ

可決(全員一致)

▼平成26年度津野町文化的景観ガイドンス施設(吉村虎太郎邸)整備工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札
契約金額 6千696万円
請負者 (有) 下元住研

可決(全員一致)

専決処分承認

▼津野町条例等の一部を改正する条例

地方税法等の改正に伴い、平成26年3月31日専決処分。

【主な改正点】

○法人税の税率を12・3%から9・7%に引き下げるもの。

○軽自動車税の標準税率を約1・5倍に引き上げるもの。

承認（全員一致）

▼津野町国民健康保険条例の一部を改正する条例

地方税法等の改正に伴い、平成26年3月31日専決処分。

【主な改正点】

○後期高齢者支援金等課税限度額を14万円から16万円に、介護納付金課税限度額を12万円から14万円に引き上げるもの。

○5割軽減の判定において、

判定基準に係る人数は納税義務者（世帯主）を除いて算定していたものから、納税義務者を加えて算定するもの。

承認（全員一致）

▼平成25年度津野町一般会計補正予算（第7号）

各事業の決算精査により1億600万円を減額し、歳入歳出の総額を74億300万円とする。

承認（全員一致）

▼平成25年度津野町国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）

事業勘定で保険給付費等2千567万6千円を減額し、歳入歳出の総額を9億455万7千円とする。

承認（全員一致）

▼平成25年度津野町簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）

施設管理費及び施設整備費1千209万7千円を減額し、

歳入歳出の総額を2億9千602万6千円とする。

承認（全員一致）

▼平成25年度津野町生活環境施設整備特別会計補正予算（第2号）

設置事業費370万円等420万円を減額し、歳入歳出の総額を7千739万1千円とする。

承認（全員一致）

陳情の審査

▼特定秘密保護法の撤廃を求める意見書決議についての陳情

（決定） 継続審査

（理由）

この法律は昨年12月13日に公布され、1年以内に施行されることとなっている。現在、施行に向けた政令による制度の肉付け作業が行われているが、この具体的な内容が依然不透明で

あることから継続審査とした。

▼貝ノ川地区集会所移転改築についての陳情

（決定） 採 択

（理由）

現地調査及び地区住民との聞き取りの結果、現集会所は倒木・落石等で過去に被害が発生し、危険地にあることや築42年を経過し老朽化していること。また、貝ノ川地区においては棚田キャンドル祭り、棚田オーナー制度など地域活性化に地区住民が一体となった取り組みがなされ、多くの交流が行われており、地域活動の拠点施設の必要性が認められることから採択とした。施設整備にあたっては、担当部署と有利な補助事業等の調査研究・検討をされ、地域に調和した事業の導入を図りたい。

なお、用地の選定にあたっては、将来の計画、利便性、安全性等を十分検討されたい。



陳情の聞きとり（貝ノ川集会所）

▼白石地区簡易水道化についての陳情

（決定） 継続審査

（理由）

本陳情は3月定例会において、離脱表明した中谷地区の承諾を署名にて確認したく継続審査としていたが、今定例会までに承諾書の提出がないため、引き続き継続審査とした。

町長 行政報告



池田町長

平成25年度は、計画をしていた各事務事業を執行することができた。一般会計及び各特別会計の出納を5月末日で閉鎖をし、決算見込みはそれぞれ黒字である。

災害時に関する協定

大規模な災害等が発生した場合、ライフラインの途絶や公共施設の損壊等から行政の災害対応能力が著しく低下することが予想される。災害時における円滑な応急対策活動を行うため、以下の協定を各団体と結んだ。

3月20日、町内5ヶ所の給油所と「災害時における燃料等の緊急供給に関する協定」。津野町商工会と「災害時における生活関連物資供給等に関する協定」。

4月16日、四国電力と「災害時の協力に関する協定」。5月8日、建設業者17社からなる津野町防災協議会と「災害時等における応急対策活動に関する協定」。

平常時から関係機関との連携を確認・強化し、災害時の迅速かつ円滑な応急対策活動の実施に努める。

自主防災組織の充実

4月14日から5月16日まで町内を22ブロックに分け、行政と社会福祉協議会が向き、自主防災活動の説明と役割について意見交換をした。

大規模災害が発生すると公助としての消防機関や行政の対応にも限界があり、自助・共助の大切さを念頭に「自分の命は自分で守る」という意識と、自主防災組織の必要性を理解して地域

での防災・減災活動に共に取り組んでいく。

観光開きと連休中の入込客

3月29日に道の駅「布施ヶ坂」で観光開きを行った。当日は小雨で直販部のレジカウントは486人と昨年の半数であった。客層は県外が約30%で、その7割が愛媛県からの入込客と推測をしている。

連休中は日並びが悪かったこともあり、県下の主な施設の入込客は前年の14%減。本町でも風車の駅、道の駅布施ヶ坂の利用客は対前年比15%減の1万4千人、天狗荘の宿泊者は7%減の611人で広島県・兵庫県・大阪府などの中国・関西方面が多い。引き続き中四国・関西向けのPRを強化し誘客を図る。

天狗荘の運営状況

観光シーズン中、好天に恵まれたことや中四国向け観光PRの効果で、事業活動収入は1億1千900万円、対前年比10%増。収支は昨

年度の赤字決算から改善、67万円の黒字となっている。しかし11月以降の冬季は依然厳しい状況である。

1月から県緊急雇用基金事業を導入し、観光拠点サービス向上と地元食材メニューの開発に取り組んでいる。県観光部局や県立公園主管課の協力を得ながら観光資源の複合的な利活用に向けた対策を講じていく。

(有)ふるさとセンターの運営状況

道の駅布施ヶ坂を統合して2年が経過した。総売り上げは2億1千万円で対前年比1%減となったが、職員の補充をできなかったことや高利益率の食堂部門の売り上げ増により当期純利益は100万円の黒字となった。

満天の星は対前年比4%減、十津店は3%減、瀬戸店は昨年9月より野菜の販売を再開したことで70%まで回復している。

町内の販売所は県外への観光PRの効果もあり、風車の駅は22%増、道の駅は

2%増、全体の売上額は1億3千800万円と昨年並み。

協働の森づくり

大手旅行会社クラブツーリズム(株)とは平成24年に協定を結び、天狗高原周辺の森林整備を行いながら津野町へのツアーを計画、全国から多くの観光客を誘致してきた。3年の期間が満了した3月31日、全国のホテル等の旅行関係者で組織しているクラブツーリズムパートナーズ会を協定者に迎え、高知県を含めた4者で5年間の協定を締結した。協賛金300万円を活用し、町有林の間伐、広葉樹の植栽・遊歩道等の森林整備を行う。1期目は天狗高原を主体に40回のツアーを企画、観光交流に寄与いただき地域活性化に繋げていく。

道路整備等の要望活動

5月12日、道路整備促進期成同盟総会県大会は知事・県選出国會議員・県議等の出席で「四国8の字ネットワークの整備促進」地域住



民の生活に直結する「命の道の整備」等について決議した。その他以下の会議に参加した。

5月21日「道全協第35回通常総会」「命と暮らしを守る道づくり全国大会」

5月28日「全国治水砂防協会通常総会」

5月30日「全国簡易水道大会・通常総会」。

要望活動は5月15日に国道197号・439号、県道窪川船戸線の岩土第2工区、県道仁淀東津野線バイパス工事の早期完成等を陳情した。

5月23日には須崎土木事務所長以下21名の参加で移動土木を行い、国道改良・砂防事業・急傾斜事業・修繕工事等の要望をした。

学力向上対策

今年度は3名の学習支援員により学校への派遣へ多くの時間を取る。町独自として漢字検定や県版の単元テストを活用した算数・数学検定の実施を進めている。確かな学力の育成を図る事を主な目的として対策室を中心に強力に進めていく。

図書館の充実

4月27日にオープンした「虎太郎館」は、当日237人の入館、108人が利用者登録カードを作られた。現在1日平均47人の入館、73冊の貸し出しをしている。

5月19日には児童図書館研究会高知支部が「かわうそ館・虎太郎館」を視察、館内の展示等のアドバイスを受けた。

郷土史や農林業の書籍を充実し、28年度までに両館で5万冊の蔵書を目指す。

今後は年間を通じた各種工作教室や定期的な読み聞かせ教室、読み聞かせボランティア勉強会など図書館利用の企画をしたい。

新刊図書を紹介、地域サロンでの本の紹介など子どもたちや地域の人達の「学習の場、本との出会いの場」「津野町の情報庫」として、町民の読書活動推進を図る。

平成25年度 各会計別の決算状況（端数切捨て）

会計名	歳入総額	歳出総額	差引総額
一般会計	64億6,942万円	62億3,752万円	2億3,190万円
国民健康保険事業	9億 760万円	8億9,811万円	949万円
直営診療事業	1億4,961万円	1億4,488万円	473万円
介護保険事業	7億2,223万円	7億 826万円	1,397万円
簡易水道事業	3億6,013万円	3億6,013万円	0万円
生活環境施設整備	7,449万円	7,445万円	4万円
後期高齢者医療	8,617万円	8,559万円	58万円

一般会計の差引総額には、26年度への繰越額6,591万円を含む。介護保険事業の差引総額には、26年度への繰越額109万円を含む。

問 文化財・資料館の
管理状況と利用は

答 文化財あわせて78種類



田中一孝

一般質問

田中

町の文化財・歴史文物はどうなっているか。資料館等の管理・保管はきちんとされているか。資料館の見学者はどうか。

川上教育長

国と県指定の文化財が9種類、町指定が69種類、計78種類の有形・無形文化財がある。資料館は東西2カ所にある。昨年度、東地区には128人の見学者、西地区は見学者はいない。

池田町長

両館あわせ三千点程の展示物があり手狭な状況。展示のあり方含め検討し早急に対応していきたい。

田中

来年二月で津野町発足十周年になる。中世から津野氏の長い歴史があり、国県を始め多くの文化財等がある。歴史を活かした町の活性化、観光産業に生かせる歴史民俗資料館をつくれなか。

池田町長

町内には津野山文化が凝縮して歴史が残っている。資料館の在り方については公共施設の統合整理や種類によって分館整理の方法等を議論して方向性を定めた。

問 新たに歴史資料館の建設は

答 方向性を定めたい



片岡邸別荘と資料館（永野）

田中

片岡邸別荘は近代に活躍した片岡兄弟の生家跡にあるが、傷みが進んでいる。整備できないか。

川上教育長

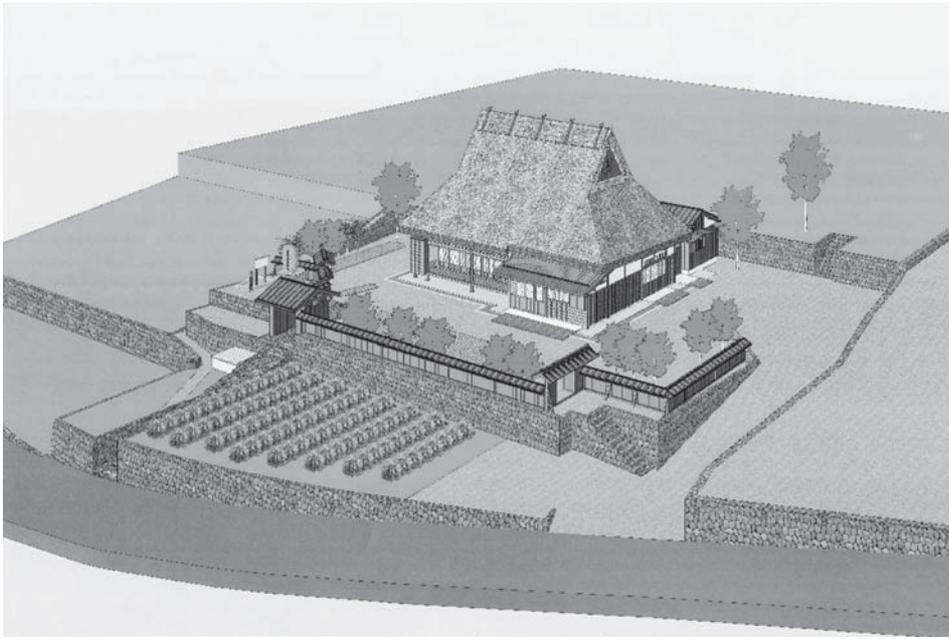
別荘は近代の貴重な財産として評価されているが、開かずじまいになっている。改修が必要と考えている。

池田町長

町として重要な財産であり修繕回復を進めたい。事業導入の課題や隣の歴史民俗資料館整備の関係もあるが、整備の方向で検討していきたい。

問 片岡邸別荘の
維持管理は

答 整備の方向で



吉村虎太郎生家復元鳥瞰図

問 吉村虎太郎生家の運営等は
答 指定管理による運営管理

田中

生家の復元に至る経過と完成後の施設運営や利用は、川上教育長

生家の復元は四万十川流域の文化的ガイダンスと位置づけ津野町の観光や情報発進、地域の活性化施設として整備する。神楽や坂本龍馬記念館等と提携したイベント等を模索している。施設の管理運営は地元地区の指定管理を考えている。

池田町長

完成後の活用については、出来る限り常時開館として集客のために歴史の見える施設としたい。

田中

津野氏は中世に土佐七守護の一人で町内に多くの文化・史跡・文物がある。そうしたものを総合的に生かしたイベントを検討できないか。

池田町長

問 津野氏の歴史文化、施設を生かせる
答 多くの意見を取り入れる

町内には様々な歴史・文化財等ありそれをどう生かすかだと考える。広域的な取組みで町内に誘客を図るために文化財保護審議会・史談会や多くの意見をとりたい検討していきたい。

問 姫野々城や周辺の整備は
答 津野氏の文化を発信

田中

津野氏の城下町・姫野々は長宗我部地検帳によると、戦にも備えた中世の城下町として当時の形状が残されている。全国的にも保存状態が良く史跡も多くある。整備出来ないか。

池田町長

津野氏・姫野々城・津野山郷の文化等を町民に知っていただくことが重要である。姫野々周辺の案内看板・史跡説明板の整備を計画している。関係団体や地域の方々の意見も伺い対応していきたい。

問 地域振興券でお祝いを

答 まだ十分に議論すべき

川上

定住対策支援として地域振興券で、結婚したカップルや仲人、支援団体にお祝いを贈ってはどうか。地域活性化にも繋がると思うが。

池田町長

提案を実施するにはまだ十分議論すべきであり、地域振興券の取り扱いについても十分検討する必要がある。

川上

子ども達が食に関する正しい知識と望ましい食生活を身につける事が重要となっている。食育の具体的な取り組みは。

川上教育長

既存の事業に加え、テレビとタイアップした取り組み等を計画している。今後は給食を試食する機会を増やしたり、家庭での食育につながるような食の専門家も招きしつかり取り組みたい。

問 食育の取り組みは

答 食の専門家も招く



楽しい給食（葉山小学校）

問 特別休暇扱いに

答 有給休暇で対応

川上

臨時職員の果たしている重要性を説くのであれば、インフルエンザなど伝染病に感染した場合に限り特別休暇扱いにできないか。

池田町長

町独自の要綱に基づき就業規定等を定めている。就業期間が6か月を越えて一年までの期間では10日間設定している有給休暇で対応を。

その他の質問

問 子ども達にお茶を

答 すすめる

一般質問



川上智子

問 教育委員会しっかりせよ

答 反省し、協議する

川上

共働きの家庭が安心して働ける環境は整っているのか。放課後子ども教室の現状と課題を問う。

川上教育長

葉山小週4日・中央小週3日・精華小月1日実施している。指導員と実施場所の確保が課題である。

川上

課題点について委員会は、もっと努力すべきではないか。長期休暇中（夏休み等）の支援はどうなっているのか。

川上教育長

もう少し積極的にといい点では反省している。夏休みについては、昨年より頻度を高めるよう現在学校と協議中である。

川上

平成23年度から3年間認定子ども園職員の人事交流が行われた。この間得たものとそれらを今後どのように生かしていこうと考えているのか。

川上教育長

指導方法・環境構成・実技など多くを学び、保護者や同僚の先生方にも影響や刺激を与えた。3名の職員には、今後の子育て教育においてしっかり研修の成果を生かしてほしい。

問 人事交流の成果と今後は

答 生かせるよう努力

ちよつと一言

「元気に、そして未来へ」

下元隆志

私は白石地区在住で、PTA、子供会、地域活動などに取り組んでいます。

地域活動においてはS・I・C（白石クラブ）と称し、当地区活動を中心に町内の各団体の皆様方との交流を通じて町全体として活力ある地区づくりが出来ないものかと活動しています。

当事業の一つに「新社会人を祝う会」があります。これは当地区在住18〜19才の若者を対象に大人になる一つの区切りとして進学、就職する若者を地区をあげて祝いそして送り出すというものです。

昨今の若者にとって近くて高知市内、県外就職、また進学という現状もある中、「見送る会」的などこか淋しい気持ちになるのはご家族の皆さんと同じです。限界集落の自然の流れと言えればそれまでですが、やがて我が子を見送る日も遠い未来ではありません。

私がこういった事業を行う上で思う事は、この若者達が休みを利用し帰省する際また再び生活する機会が訪れた際、当地区に楽しみを感じる気持ちをもち、その若者達を暖かく迎えらるるような娯楽と活力ある地域づくりの手助けができないか？と思うのです。

2年間、活動を続けています。役員や会員の皆さんから心強く励まされたり、御協力を頂き私自身、大変意味深い活動をさせて頂いていると実感しています。私の地域における活動は始まったばかりで小さいものです。PTA活動で学校運営サポートや、子供会活動での学校外子供育成などの取り組みにより、そこに人々が集い楽しみながら共に活動し、その輪が広がり、この津野町の未来に魅力に満ちた光輝くものを存在させる事が出来たのならば素敵な事だと思っております。

北海道訓子府町を表敬訪問

総務常任委員会と産業建設常任委員会は去る5月14日から16日まで合同の視察研修を実施しました。

○交流の経過

平成5年訓子府町より高知県知事に交流市町村の紹介を依頼し、同年東津野村が交流の意思を表明。以降平成8年から平成26年4月までに訓子府町から述べ274人、津野町から313人（公式記録）の交流が行われている。

○北見農業試験場

道内の22の道立試験研究機関が統合され、平成22年4月、地方独立行政法人北海道立総合研究機構が設立され、この一つとして訓子府町に北見農業試験場がある。組織として、麦類、作物育成、生産環境、地域技術のゲ



交流会（訓子府町役場）



小麦の試験場を視察

ループが編成（職員数45名、うち研究員31名）されている。秋まき小麦「きたほなみ」、ばれいしょ「コナユキ」玉ねぎ「さらり」、チモシー「なつちから」を育成するなど麦類、ばれいしょなどの畑作物玉ねぎ、チモシーに関する試験研究を行っている。

○訓子府町共同利用模範牧場

酪農家の平均耕地面積が22haと少ない中で酪農の規模拡大を促進し、酪農近代化を達成するため、育成部門の分離により施設・耕地の利用効率を向上し、所得の増大を図ることを目的として整備された。

総面積622haの敷地内での認容頭数は910頭である。

○訓子府町児童センター

「ゆめゆめ館」

放課後の一定の時間を異年齢集団で生活することで、遊びを通じた交流を促進し、様々な交友関係を通じて豊かな人間性や社会性、自主性、協調性が育つように支援することを運営目的としている。



自由に遊ぶ子どもたち



床は津野町産の桧を使用

研修を終えて

平成25年4月に開設された児童センター「ゆめゆめ館」は、津野町産の桧が床材等に使用されており、玄関に入るといい木の香りがした。

中では宿題をしたり絵本を読む子、遊戯室では元気に体を動かす子等、それぞれ過ごしており、皆初めて会う私たちにも元気に挨拶してくれた。

保護者が就労等により日中家庭にいない子どもが対象となる「児童クラブ児童」と自由に来館して利用する「自由来館児童」が一緒に利用できることや春・夏・冬の長期休暇中、土曜日、振替休日も利用することが可能であるとのこと、保護者が安心して楽しく子育てができるように支援がなされていると感じた。

今回の表敬訪問において引き続き姉妹まちとしての友愛の絆を深め、更なる交流へと発展することを再確認した。

読まれる議会だよりを目指します

議会だより発行調査特別委員会報告

議会だより発行調査特別委員会は7月10・11日東京で開催された全国町村議会広報研修会に参加しました。

初日は表現表記・編集・写真の3分野の研修。雑誌や週刊誌、居酒屋のメニュー等を参考にいくつものポイントを学び、限られた紙面の中で、読者を思い描きながら、どう伝えるか考えて作ることを再確認した。

二日目は全国156の参加町村が四つの分科会に分れ、事前に申し込んでいた広報クリエイティブで日頃の議会だよりに対する個別指導を受けた。各分科会でクリエイティブを受けたのは6町村と少なく、多くの町村の前で私たちの議会だよりの様々な改善点が明かされるようになったが、今後に向けて大変有意義なものになった。写真については技術も必要だが、編集や表記の仕方は工夫次第である。早速、今回の

研修を生かしながら今後は編集マニュアルの作成も手ごたえ。また、議会をより身近に感じてもらえるよう、読者である町民との双方向性を目ざした企画や、できるだけ多くの住民が参加できる紙面を心がけようと思う。



全国町村議会広報研修会

かかれた課題の解決を

総務常任委員会報告

総務常任委員会は、6月20日社会福祉協議会の現状と課題・あったかふれあいセンターの活動状況について社会福祉協議会と意見交換を行いました。

里楽にて社会福祉協議会の組織と事業概要の説明を受けた後あったかふれあいセンター「せんだん」の視察を行った。

「孤立を生まない津野町」を基本方針に地域支援事業や総合支援・生活支援事業等住民によりそい課題を地域で共有し解決へとつなげるしくみづくりを行うなどの長期的な目標に向けて取り組みがなされていた。

一方、職員のおくは臨時・非常勤という現状である。各種事業において正規職員と同じく継続的な取り組みをする困難さを感じた。今後情報共有を大切に、かかれた課題の解決やたすけあいの町づくりの推進に努められたい。

社会福祉協議会と意見交換



あったかふれあいセンター「せんだん」



議会のうごき

4月

22 || 津野町かおりの里づくり推進会議総会
(本庁・議長)

24 || 高幡東部清掃組合大野地区との交流会
(中土佐町・議長)

25 || 全員協議会(西庁・議員)
27 || 津野町立図書館虎太郎館オープニングセレモニー
(議長)

5月

8 || 国道197号等(維新の道)整備促進期成同盟会決算監査
(西庁・議長)
災害協定締結式
(本庁・議長外)

11 || 四万十川総合水防演習
(四万十市・議長)

12 || 道路整備促進期成同盟会総会
(高知市・議長)
14 || 訓子府町表敬訪問(議員)
(16日まで)

18 || 中央小学校運動会
19 || 須崎地区地域安全協会総会
(須崎市・議長)

22 || 津野山畜産公社通常総会
高幡町村議会議長会定期総会
(佐川町・議長)

- 23 〓 全員協議会 (本庁・議員)
移動土木 (本庁・議員)
- 25 〓 津野町ふれあい特産市
(かわうそ自然公園)
- 26 〓 国道197号等整備促進期成
同盟会総会
- 27 〓 全国町村議会議長会議
・副議長研修会
(東京都・正副議長)
(〓28日まで)
- 2 〓 全員協議会 (西庁・議員)
議会運営委員会
(西庁・委員)
ふるさと新荘川清流保全
協議会総会 (須崎市・議
長)
- 6 〓 第3回津野町議会定例会
(西庁・議員)
総務常任委員会 (本庁)
産業建設常任委員会 (西
庁)
- 7 〓 休会 (〓9日まで)
- 10 〓 一般質問
- 11 〓 議案審議、閉会
- 13 〓 夏祭り実行委員会
(西庁・議長外)
- 16 〓 国道439号矢筈トンネル早
期実現期成同盟会定期総
会 (天狗荘・議長外)
- 19 〓 警察官友の会須崎支部総
会 (須崎市・議長)
- 20 〓 総務常任委員会
(里楽・委員)
- 22 〓 中土佐町第一号津波避難
タワー落成式典 (議長)
- 26 〓 津野山農協通常総代会
(西庁・議長)
- 27 〓 岩手県遠野市議会行政視
察 (西庁・議長)
- 28 〓 高知津野町会定期総会
(高知市・正副議長)
- 3 〓 津野町老人クラブ連合会
総会 (福祉交流センター・
総務常任副委員長)
- 10 〓 町村議会広報研修会 (東
京都・委員) (〓11日まで)
- 12 〓 津野町東津野B&G海洋
センタープールリニュー
アル記念式典 (議長・総
務常任委員長)
- 14 〓 議会だより発行調査特別
委員会 (本庁・委員)
- 16 〓 議員勉強会 (西庁・議員)
- 18 〓 高幡広域市町村圏事務組
合議会7月定例会
- 22 〓 議会だより発行調査特別
委員会 (本庁・委員)
- 23 〓 高幡東部清掃組合臨時会
(中土佐町・委員)
- 24 〓 市町村議会議員研修
(高知市・議員、監査委員)
- 26 〓 国道439号大植バイパス開
通式 (仁淀川町・議長)
高原荘夏まつり (議員)
- 27 〓 津野消防団連合演習
(議員)



壮大な牧場 (訓子府町)

- 23 〓 高幡東部清掃組合臨時会
(中土佐町・委員)
- 24 〓 市町村議会議員研修
(高知市・議員、監査委員)
- 26 〓 国道439号大植バイパス開
通式 (仁淀川町・議長)
高原荘夏まつり (議員)
- 27 〓 津野消防団連合演習
(議員)

津野町議会だより発行調査 特別委員会	委員長 西元和代 副委員長 川上智子 委員 大崎公孝 委員 大崎芳章 委員 田中一孝 委員 松尾信壽
-----------------------	-------------------------------------------------------------------

編集後記

いよいよ8月を迎え、夏本番となりました。自主防災組織の活動を推進している今、6月の長沢の滝の清掃では学生・ボランティア総勢百人以上の参加があり地域の力を感しました。福祉パトロールの際も多くの方のボランティアの参加がありました。高齢者宅へ伺った際、色々な電話がかかってくるという話を聞きました。その際には近所の方、警察、役場へ相談するようにしましょう。

今年も大変暑い夏が予想されます。こまめな水分補給を心がけ、お身体には充分留意し楽しい毎日を送りましょう。
(文責：松尾信壽)

議会を傍聴しませんか

次の定例会は9月です。大勢の傍聴をお待ちしています。

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せ下さい。

津野町役場議会事務局

議会だよりは、環境配慮型の再生紙を使用しています。